

2015.5.24 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2015年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」

「主を忘れてはならない」

日本イエス池田中央教会・鎌野善三^{としみ}牧師

「気をつけなさい。私が、きょう、あなたに命じる主の命令と、主の定めと、主のおきてとを守らず、あなたの神、主を忘れることがないように。」（申命記 8:11）

はじめに：

申命記は、カナン入国を前にしたモーセの告別説教。カナンにおける祝福と祝福に伴う危険性を覚えながら、「主を忘れるな」との大切な戒めを与えた。

何故主を忘れてはいけないのか？

1. 主は試みられる方だから

- ・荒野の40年間は試練続きであった(蛇、サソリのいる乾燥地域、水不足、食料不足・・・)。
- ・しかし、イスラエルはその試練を通してマナを降らせ、岩からの水を湧き出させる神の供給の恵みを捉えた。
- ・私たちにも、試練は多く訪れるが、神は脱出の道を備えてくださる(1コリント 10:13)。

2. 主は祝福される方だから

- ・イスラエルは、カナン入国後、物質的祝福を得ることが約束された。
- ・しかし、その物質的祝福が自分の力で得られたかのように高ぶる危険もあった。

- ・その危険は、物質的繁栄の中にある現代日本のについても当てはまる。
- ・豊かな時代だからこそ「主を忘れてはならない」のである(箴言 18:12)。

3. 主は裁かれる方だから

- ・イスラエルは、カナンの神々を礼拝するようになって墮落し、分裂し、滅亡してしまった。
- ・イスラエルを滅ぼした世界帝国も、また、その後の歴史に勃興した大帝国も、その驕りによって次々に滅亡した。
- ・私達も主を忘れる愚を繰り返してはならない。

終わりに

- ・どんなに恵まれた聖徒であっても、自分の力に頼るならば、主の裁きを受ける。主を忘れてならない(1 コリント 15:10, 哀歌 3:22)。
- ・忘れるなどの命令の背後には、「私たちが忘れなさない」主がおられることを覚えよう(イザヤ 49:15)。キリストは、神が私たちが忘れ給わないことを示す徴である(ヨハネ 3:16)。